

2009年2月23日

各 位

本社所在地 大阪府中央区南船場2丁目3番2号
会社名 イオンデイライト株式会社
代表者名 代表取締役社長 堤 唯見
(コード番号 9787 東証・大証 第一部)
お問合せ先 デイライトコミュニケーション部長 指江 正敏
(TEL. 06-6260-5632)
当社の親会社 イオン株式会社 (コード番号: 8267)
株式会社マイカル (コード番号: -)

機構改革と人事異動について

当社は、2009年2月19日に開催された取締役会において、下記の通り、**機構改革と人事異動**を決定しましたのでお知らせいたします。

記

1. 機構改革の要旨

当社は、2009年3月よりの新年度を迎えるにあたり、昨今の急激な環境の変化に対応するため、抜本的な組織体制の改革を実施致します。①イオングループ外顧客への営業力強化、②イオングループ各社との関係強化、③収益性（生産性）向上に向けた業務改革体制強化、④重複する機能を集約し機能優先のスリムな本社体制の構築により、「成長のマネジメント」と「品質のマネジメント」のサイクルを一層推進させてまいります。

2. 機構改革の内容

1) 新設または改変する組織

- ① 営業本部に営業副本部長として新たに取締役を配し、「**営業統括部**」、イオングループ外の大顧客とパブリックビジネス及び再開発物件等の収益拡大を担当する「**営業開発部**」を新設する。全国の各地域で営業の拡大を図る、「**北海道営業部**」「**東北営業部**」「**関東営業部**」「**中部営業部**」「**関西営業部**」「**中四国営業部**」「**九州営業部**」を新たに「**営業統括部**」配下とすることで営業本部直轄とし、営業本部主導によるイオングループ外へのより強固な営業体制を構築する。
- ② 新規開発・業務設計・グループ営業管掌の配下に「**グループ営業本部**」、「**新規開発本部**」を新設する。グループ営業本部内に「**グループ第一営業部**」「**グループ第二営業部**」「**グループ第三営業部**」を設置する。新規開発本部内に「**アクア事業チーム**」「**リテール事業チーム**」「**金融事業チーム**」を新設する。業務設計本部内にシステム運用部、システム企画部を統合し「**システム部**」を新設する。マーケティング部の機能を「**イノベーション部**」に移管する。

・「**グループ営業本部**」

グループ営業の三部を統括し、グループ内営業拡大、窓口業務及び営業活動のコントロールを担当する。

・「**新規開発本部**」

アクア事業・リテール事業・金融事業をイオンディライトの将来の収益の柱として確立させるため、新規事業戦略を担当する。

- ③ 業務担当配下に「**業務改善本部**」を新設、業務改善本部内に「**業務改善部**」「**取引先開発部**」「**ADソリューションセンター**」を再編のうえ新設する。業務本部内に全国に展開するお客さまの窓口業務を担当し、各支社と連携して対応することで、お客さまとのパートナーシップの強化を図る「**広域顧客部**」を再編の上新設する。

・「**業務改善本部**」

「**業務改善部**」「**取引開発部**」「**ADソリューションセンター**」を統括し、当社の競争力向上、協力会社との関係強化並びにリスク対応、リスクコントロールを担当する。

- ④ 経営管理担当配下の**経・コン**本部内にイオンディライトグループ関係会社の成長戦略に沿った改善・指導を担当する「**関係会社管理部**」、内部統制システムの円滑な運用を行うための準備、実態把握、指導を担当する「**内部統制推進部**」を新設、また財務部と経理部の機能を統合し「**財務経理部**」を新設する。人事・総務本部内に「イオンディライトアカデミーながはま」の開設に向けた準備を行う「**長浜開設準備室**」を新設、人事部及び人材開発部の機能を「**人事部**」に統合する。

2) 改廃する組織

- | | |
|-----------------------------|-----------------------|
| ・危機管理本部 | →業務改善本部へ統合 |
| ・QMS部、施設事業部、警備事業部（特別警備部を除く） | →業務改善部に再編 |
| ISO推進部、臨戦部 | |
| ・中央管制センター、AICセンター | →ADソリューションセンターに再編 |
| ・管財部 | →リノベーション部へ統合 |
| ・営業推進部、バックオフィスサポート部、特別警備部 | →広域顧客部に再編 |
| ・マーケティング部 | →イノベーション部へ統合 |
| ・アクア事業部 | →アクア事業チームに再編 |
| ・ライサ事業部 | →リテール事業チームに再編 |
| ・警送部 | →金融事業チームへ機能移管 |
| ・システム運用部、システム企画部 | →システム部へ再編 |
| ・ステアリングコミッティ統括部 | →戦略部へ統合 |
| ・事業推進部 | →事業推進チームとして
戦略部へ統合 |
| ・財務部、経理部 | →財務経理部へ再編 |
| ・人材開発部 | →人事部へ統合 |
| ・取引開発部 | →取引先開発部として再編 |

3) 機構改革の内容および人事異動（下線は新組織、新任、カッコ内は旧職）

<u>新規開発・業務設計・</u>	<u>三好 正和</u>	取締役副社長
<u>グループ営業管掌</u>		
<u>新規開発本部長</u>	<u>北村 文克</u>	取締役
商品資材開発部長	井並 達也	
<u>アクア事業チームリーダー</u>	<u>横山 登文</u>	(バックオフィスサポート部長)
<u>リテール事業チームリーダー</u>	<u>寺島 英俊</u>	(ライサ事業部長)
<u>金融事業チームリーダー</u>	<u>遠藤 憲治</u>	(金融事業統括部長)
<u>業務設計本部長</u>	<u>西垣 晃志</u>	取締役
<u>システム部長</u>	<u>上原 澄男</u>	(システム運用部長)
契約書管理部長	岩本 靖夫	
積算部長	<u>石原 正三</u>	(リノベーション部長)
<u>イノベーション部長</u>	<u>山村 尚広</u>	(施設事業部長)
<u>グループ営業本部長</u>	<u>家志 太二郎</u>	(CO2削減部長)
グループ第一営業部長	<u>小島 真二</u>	(営業本部)
グループ第二営業部長	<u>竹尾 信一</u>	(越谷レイクタウン支店長)
グループ第三営業部長	関根 均	
<u>業務担当</u>	<u>高橋 教夫</u>	専務取締役
<u>業務本部長</u>	<u>下藪 陸雄</u>	取締役
北海道支社長	山村 修	
東北支社長	岸 彰広	
関東支社長	山本 隆史	
中部支社長	岸野 浩之	
関西支社長	森本 昌幸	
中四国支社長	原田 光治	
九州支社長	<u>遠藤 英雄</u>	(グループ第一営業部長)
Dプロジェクトリーダー	関井 孝広	
<u>広域顧客部長</u>	<u>根岸 正己</u>	(営業推進部長)
<u>業務改善本部長 (危機管理担当)</u>	<u>仲村 文男</u>	常務取締役
<u>業務改善部長</u>	<u>柚木 忠</u>	(QMS部長)
<u>取引先開発部長</u>	<u>三宅 康男</u>	
<u>ADソリューションセンター長</u>	<u>堀川 康寿</u>	(中央管制センター長)
リノベーション本部長	兼務) <u>仲村 文男</u>	常務取締役
リノベーション部長	<u>嗟峨山 秀樹</u>	(管財部長)
CO2削減部長	<u>小林 雅弘</u>	(リノベーション部担当部長)
清掃事業本部長	兼務) 下藪 陸雄	
清掃事業部長	宮前 吾郎	
営業本部長	山田 隆一	常務取締役
営業副本部長	<u>藤田 浩行</u>	取締役
営業統括部長	兼務) <u>藤田 浩行</u>	取締役

営業開発部長	<u>宮本 弘紀</u>	(グループ第二営業部長)
第一営業部長	高梨 忠美	
第二営業部長	園部 幸男	
第三営業部長	水戸 秀幸	
営業企画部長	廣部 光紀	

経営管理担当	亘 孝祥	専務取締役
戦略部長	京本 明志	
国際部長	四方 基之	
プライベートコミュニケーション部長	指江 正敏	
経理・コントロール本部長	栗根 正明	取締役
財務経理部長	<u>麦林 治孝</u>	(経理部長)
コントロール部長	奥野 光一	
関係会社管理部長	<u>藤枝 浩一</u>	(財務部長)
内部統制推進部長	<u>岩城 吉博</u>	(A I Cセンター長)
人事・総務本部長	中山 一平	常務取締役
人事部長	飯塚 貴将	
人事企画部長	川合 佳紀	
総務部長	新井 健一	
法務部長	寶田 幹雄	
<u>長浜開設準備室長</u>	<u>野池 徹</u>	(人材開発部長)

(社長直轄)

経営監査室長	中西 康
秘書室長	大江 千鶴

(子会社)

イオンディライトアカデミー株式会社	兼務) 中山 一平	代表取締役社長
イオンディライトセキュリティ株式会社	倉方 大輔	代表取締役社長
イオンディライトセレス株式会社	野中 直昌	代表取締役社長
イオンディライトタワーズ株式会社	小島 一身	代表取締役社長
永旺永楽(北京)物行管理有限公司	大林 哲雄	董事長兼総経理
環境整備株式会社	増田 武見	代表取締役社長

3. 日程

上記の機構改革および人事異動については2009年3月1日付けで実施します。

以 上